

平成 27 年度琉球大学法科大学院
A 日程 未修者コース 入試問題

小 論 文

平成 26 年 8 月 31 日 (日曜日)
10 時～11 時 (60 分)

注意事項

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いないように受験してください。

- 1 この試験では、問題冊子 1 部、解答用紙 1 枚、下書用紙 1 枚を配布します。
試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 この試験の解答として提出された小論文は、面接の際の資料として用いられます。
小論文に対する評価は、面接試験の得点の中で評価されます。
- 3 試験開始後、問題の部分に印刷不鮮明、汚損等があれば直ちに申し出てください。
- 4 解答は、必ず解答用紙に記入して下さい。解答に用いたすべての解答用紙の所定欄に、
受験番号と氏名を記入してください。
- 5 黒色または青色であれば筆記用具は問いません。ただし、鉛筆書きの場合は文字が
薄くならないように十分注意してください。
- 6 試験開始後は、途中退席できません。用便を希望する際は手をあげてください。
- 7 試験終了後、解答用紙を回収するので、指示があるまで席を立たないでください。配
布した解答用紙は、書き損じや未使用のものも含めて、すべて回収します。問題
冊子と下書用紙は持ち帰ってください。
- 8 その他は、すべて監督者の指示に従ってください。

問題

いわゆる「格差問題」に関する次の【文章】を読んで、後記〔設問〕に答えなさい。

【文章】

(【文章】については、著作権の関係で、当 Web ページには掲載しておりません。)

《山田昌弘「新平等社会」26~28頁（文春文庫2009年）》

〔設問〕

格差問題といわれるものには、収入格差、教育格差、地域格差など多様なものが含まれる。そこで、格差問題とされるものを1つ選び、そのテーマについて、上記文章に示された筆者の論理にしたがって、格差肯定論、格差否定論のそれぞれを 具体的に立論し、最後に、筆者が提案するような立場から解決策を記述しなさい。

以 上